

14j システム設計の基礎と実践トレーニング

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場※	NISA研修室（住所：〒850-0032 長崎市興善町4番6号）
・講師	富士通ラーニングメディア（FLM）講師：谷川直仁
・開催月日	2024年11月6日（水）・7日（木）・8日（金）
・実施時間・日数	9:30～17:30（7時間/日）・3日間（21時間）
・受講料（税別）	94,560円
・教材料（税別）	6,000円

※研修会場は変更する場合がありますので最新情報はNISAホームページでご確認下さい。

2. 対象者

システム設計作業を担当する方。

3. カリキュラムの概要

システム設計工程での作業内容、作業手順、およびその基本的な考え方について、システム設計技術をもとにした説明によって学習します。演習では、機能とデータの両面での考え方、ポイントの理解を目的に、事例企業の業務を題材とした画面レイアウトのレビュー、論理データモデルの修正などを行います。演習はグループ形式で行います。参加者同士の意見を交換することで、新たな観点到に気づくことができます。

4. カリキュラムの詳細

3日間（21時間）

	科目	時間	科目の内容
11 月 6 日	システム設計概要	1.0	1 システム開発体系 2 システム設計
	基本設計工程	5.5	1 基本設計工程の概要 2 基本設計工程のインプット情報 3 プロセスの定義 4 画面設計 【演習】 5 帳票設計 6 論理テーブル設計 【演習】 7 プロセス機能設計 【演習】 8 データとプロセスの整合性検証 【演習】 9 メッセージ設計 10 共通化対象の抽出
	詳細設計工程	0.5	1 テストの概要 2 テスト設計技法 3 プログラム開発におけるテスト作業

	科目	時間	科目の内容
11月7日	方式設計	1.5	1方式設計の位置づけ 2方式設計と他の作業の関係 3アプリケーション方式設計のポイント 4基盤方式設計のポイント
	機能設計	5.5	1 機能設計の位置づけ 2機能設計と他の作業の関係 3プロセスの定義のポイント 4画面設計のポイント 【演習】 5帳票設計のポイント
11月8日	機能設計	1.5	6プロセス機能設計のポイント 【演習】 7外部設計のレビューのポイント 8プログラムへの分割のポイント
	データ設計	5.5	1 データ設計の位置づけ 2データ設計と他の作業の関係 3論理テーブル設計のポイント 【演習】 4プロセスとデータの整合性検証のポイント 【演習】 5データベース物理設計のポイント
	計	21.0Hr	

5. 使用教材

システム設計の基礎

システム設計 実践トレーニング

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

- ① システム設計作業の概要を理解する。
- ② 基本設計工程の作業体系およびドキュメント体系を理解する。
- ③ 詳細設計工程の作業体系およびドキュメント体系を理解する。
- ④ システム化要件(システム機能やデータ構造など)を把握する。
- ⑤ システム機能の設計を行い、プロセスの設計をする。
- ⑥ コードおよび帳票や画面の入出力形式の設計をする。
- ⑦ データ(テーブル)の設計をする。

7. レベル

ITSS:アプリケーションスペシャリスト育成 - [*]テクノロジー【レベル:2】

ITSS:ソフトウェア開発育成 - [*]テクノロジー【レベル:2-3】

[*] ITスキル標準研修ロードマップにおけるコース群名